

報道関係者各位(企業情報)

2022年7月4日

PGAシニアツアー「ファンケル クラシック」 3年ぶりに有観客で開催！

株式会社ファンケルは、2022年8月19日(金)～21日(日)の3日間、公益社団法人「日本プロゴルフ協会」(PGA、所在地:東京都港区、会長:吉村金八)主管競技、PGAシニアツアー「ファンケル クラシック」を静岡県裾野市の裾野カンツリー倶楽部で開催します。

2020年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で大会を中止、昨年は「無観客」で開催いたしました。今年は3年ぶりにギャラリーをお迎えし、「有観客」で開催いたします。またKIRINグランドシニア特別賞^{※1}を設置し、60歳以上のシニアプロの活躍を今まで以上に応援してまいります。

大会開催にあたっては、ガイドラインに則った感染予防対策を講じ、安心・安全な大会運営を目指します。

※1 大会に出場したシニアプロのうち、60歳以上の1～3位の選手に与えられる賞



「シニアの元気が日本の元気！！」をスローガンに、毎年熱戦が繰り広げられる本大会は、今年で21回目を迎えます。昨年は、田村尚之選手がプレーオフを制して、大会初制覇を果たしました。今年も強豪81人(選手76人、アマ5人)が出場予定です。

シニアの熱戦の様子は8月20日(土)、21日(日)の2日間、解説者に宮里聖志プロを迎え、BSテレビ東京にて生中継で全国のゴルフファンの皆さまへお届けします。

<開催概要>

大会名	PGAシニアツアー「ファンケル クラシック」
開催日程	2022年8月19日(金)・20日(土)・21日(日)
賞金総額	6,600万円(優勝賞金:1,500万円) ^{※2}
会場	裾野カンツリー倶楽部(静岡県裾野市)

※2 KIRINグランドシニア特別賞の600万円を含む

* 政府および自治体の見解や新型コロナウイルスの感染状況などによって、大会開催の可否を含めて内容を変更する場合があります。

「シニアの元気が日本の元気！！」をスローガンに掲げ、今年で 21 回目

本大会は「シニアの元気なくして、日本の景気回復なし」を掲げて、PGAと手を携えて2001年に創設したシニアトーナメントで、今年で 21 回目を迎えます。創設当時は、バブル経済崩壊による不況が日本を襲い、プロゴルフツアーのスポンサーも減少、特にシニアツアーは厳しい状況下にありました。

こうした状況を受け、シニアプロが活躍する場を広げ、その姿を見る多くのシニア層の奮起につなげ、日本経済に活気を与えたいとの願いを込めて本大会を始めました。

昨年は無観客での開催となりましたが、今年は 3 年ぶりに有観客で開催します。ギャラリーの皆さまの応援を背に、シニアプロが躍動する姿にご注目ください。

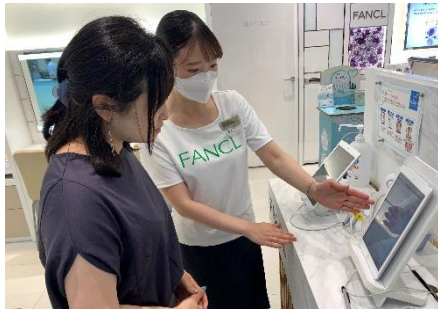
グランドシニア特別賞を設置し、よりシニアを応援する大会に

グランドシニア特別賞を 3 年ぶりに設置し、60 歳以上のシニアをより一層応援する大会へと進化しました。総額 600 万円の賞で、1 位:300 万円/2 位:200 万円/3 位:100 万円です。

日本は超高齢化社会に突入し、60 歳以上の方の活躍が日本社会にとって必要不可欠です。60 歳以上のグランドシニアの活躍を通じて、大会スローガンである「シニアの元気が日本の元気！！」をより広く世の中に発信していきます。

ご家族で楽しめる大会！

会場内では、最新の「AIパーソナル肌分析」でお肌の状態を確認できる「肌スコアチェックコーナー」や、野菜の摂取量が見える「健康チェックコーナー」を設置します。「KIRINキッズパーク」なども展開し、ゴルフファンはもちろんのこと、ご家族でも楽しめる大会となっています。地元静岡県東部では、夏の一大スポーツイベントとして定着しています。



「ファンケル クラシック基金」を通じて全額を寄付

「ファンケル クラシック」は、第 1 回大会より収益金を大会開催地である裾野市などに寄付してまいりました。第 7 回大会からは「ファンケル クラシック基金」を設立。大会を通じた社会貢献活動も行っています。

今年も、さまざまなチャリティ活動を通じた「ファンケル クラシック基金」と、従業員が任意で加入する「もっと何かできるはず基金」から、「裾野市」「特定非営利活動法人 国際連合世界食糧計画WFP協会」のほか、「看護師支援団体」へ寄付を行う予定です。寄付先は、当社のサステナビリティに向けての重点取り組みテーマである「健やかな暮らし」「地域社会と従業員」および「環境」に基づき、選定しています。

「ファンケル クラシック基金」運営委員	
池森 賢二	ファンケル 名誉相談役 ファウンダー
高橋 勝成氏	プロゴルファー
二宮 清純氏	スポーツジャーナリスト
寄付先選定基準	
サステナビリティに向けての重点テーマ ①「健やかな暮らし」 ②「地域社会と従業員」 ③「環境」に基づく	

熱戦の模様を生放送で全国へ

「ファンケル クラシック」の模様は、今年もBSテレビ東京にて解説者に宮里聖志プロを迎え、全国のゴルフファンのもとへ生中継でお届けします。

<放送概要>

- ◇2022年8月20日(土) 12:00~14:30 / 21日(日) 12:00~15:00 ※21日(日)は延長あり
- ◇BSテレビ東京
- ◇中継ホール(予定): No.10~No.18
- ◇制作著作: BSテレビ東京

入場チケット

「ファンケル クラシック」では、多くの方々にトーナメント観戦を楽しんでいただけるよう、高校生以下と70歳以上の方は無料でご入場いただけます。

◆前売券:3,000円 [3枚綴り]

当日券:1,000円 [19日(金)] 2,000円 [20日(土)、21日(日)]

※チケットはすべて消費税込みの料金です。

※高校生以下、70歳以上の方は無料。

- ◇発売場所/裾野カンツリー倶楽部 URL: <https://www.susono-cc.co.jp>
チケットぴあ URL: <https://pia.jp/t/> (Pコード:676-458)
ローソンチケット URL: <https://1-tike.com/> (Lコード:41653)

交通案内

会場までは、下記の交通手段およびルートでお越しいただくのが便利です。

<自動車>

東京方面:東名高速道路・裾野 I.C.料金所を出て正面の信号を右折。係員の指示に従って駐車場へお停めください。

静岡方面:東名高速道路・裾野 I.C.料金所を出て正面の信号を左折。係員の指示に従って駐車場へお停めください。

※裾野 I.C.料金所から5km、約10分。

※東名高速道路・東京 I.C.より101.4km、約1時間10分。

※ギャラリー駐車場完備、大会会場までの無料送迎バスを随時運行。

<電車>

東海道新幹線・三島駅下車

→タクシー乗車(約5,000円、40分)

※新幹線「こだま」ご利用の場合、東京駅から三島駅まで約1時間です。

<無料シャトルバス:三島駅北口②番乗り場から>

19日(金)・20日(土)・21日(日) 6:30~12:30(予定) 30分間隔で運行予定

本件に関するお問い合わせ先

株式会社ファンケル 社長室 広報部

TEL 045-226-1230 FAX 045-226-1202 / <https://www.fancl.jp/golf/>

<参考資料>

【大会情報】

大会名	PGAシニアツアー「ファンケル クラシック」
主催	株式会社ファンケル
主管	公益社団法人 日本プロゴルフ協会
後援	公益財団法人 日本ゴルフ協会、裾野市、裾野市観光協会、 一般社団法人 静岡県ゴルフ場協会、静岡県ゴルフ練習場協会、 静岡新聞社・静岡放送、BSテレビ東京
協力	裾野カンツリー倶楽部
企画運営	株式会社 I&S BBDO 株式会社 ダンロップスポーツエンタープライズ
開催期日	2022年8月19日(金)第1日(第1ラウンド) 20日(土)第2日(第2ラウンド) 21日(日)第3日(最終ラウンド)
開催会場	裾野カンツリー倶楽部 住所:〒410-1104 静岡県裾野市今里1060 電話:055-997-3030(代表)
賞金総額	66,000,000円
	●KIRINグランドシニア特別賞(60歳以上):総額600万円 1位:300万円/2位:200万円/3位:100万円
優勝賞金	15,000,000円
優勝副賞	・トヨタ クラウン ・ワイン1年分 ・ビール1年分 ・「免疫サポート」と「男性用スキンケアセット」1年分
特別賞	●ホールインワン賞(17番ホール):200万円(3日間/該当者全員) ●元気・ドラゴン賞(1番ホール):100万円(最終日のみ/複数の場合均等割り) ●イーグル賞(18番ホール):100万円(3日間/複数の場合均等割り) ●大会ベストスコア賞:100万円(複数の場合均等割り)

【ギャラリー向け情報】

家族みんなで	お子さまたちに
・ギャラリーガーデン ・フォトスポット	・KIRINキッズパーク
パパ&ママに	
・ファンケル肌スコアチェックコーナー ・ファンケル商品 特別販売コーナー	・ファンケル健康チェックコーナー ・授乳室+おむつ替え所

【ファンケル クラシック歴代優勝者】

	ファンケル クラシック 優勝者	優勝スコア	PGAシニアツアー賞金王
2001年	高橋 勝成選手	-15	高橋 勝成選手
2002年	高橋 勝成選手	-5	高橋 勝成選手
2003年	高橋 勝成選手	-6	高橋 勝成選手
2004年	横島 由一選手	-9	横島 由一選手
2005年	三好 隆選手	-9	三好 隆選手
2006年	室田 淳選手	-14	室田 淳選手
2007年	室田 淳選手	-12	室田 淳選手
2008年	尾崎 健夫選手	-9	飯合 肇選手
2009年	尾崎 健夫選手	-13	尾崎 健夫選手
2010年	高見 和宏選手	-13	倉本 昌弘選手
2011年	金 鍾徳選手	-16	金 鍾徳選手
2012年	高見 和宏選手	-9	尾崎 直道選手
2013年	羽川 豊選手	-8	室田 淳選手
2014年	羽川 豊選手	-7	倉本 昌弘選手
2015年	室田 淳選手	-14	室田 淳選手
2016年	室田 淳選手	-10	P・マークセン選手
2017年	米山 剛選手	-7	P・マークセン選手
2018年	P・マークセン選手	-13	P・マークセン選手
2019年	P・マークセン選手	-9	T・ウィラチャン選手
2020年	新型コロナウイルスの影響で大会中止		寺西 明選手
2021年	田村 尚之選手	-10	篠崎 紀夫選手